



北の浜

西村 満

# 北の風景展

2019年9月14日(土) — 10月20日(日)

これからのアートを創る

NSG 美術館

【利用案内】 開館時間 午前10時30分～午後6時(入館は5時30分まで)

休館日 月曜日 ※祝日または振替休日が月曜日の場合はその翌日

【観覧料】 一般:300円・学生:200円・高校生以下:無料

# 西村 満 北の風景展

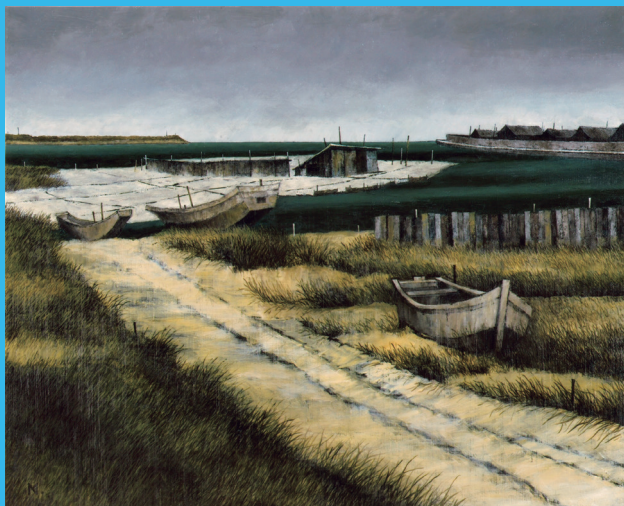
## 「北の風景を追って」

学生時代、護国神社の脇の洋館の家に間借りしていた。夏の夜、坂口安吾の石碑の脇に寝そべり夜通し友と語り合った。

赴任した最初の学校が松浜中学だった。美術の教師をしながら、松浜漁港を描いて県展に出品し始めた。藤見中学に転動になり、美術の時間、学校の丘の上から山の下工場地帯を写生させ、自らも、スケッチした。やがて、県内外の工場地帯にモチーフを捜して歩いた。鹿ノ瀬の昭和電工・糸魚川の青海電化・県外の松尾鉱山跡など。

そのうち、小針駅前に家を建てた。そして、小針浜はじめ、五十嵐浜や分水河口、北は太夫浜や桃埼浜、塩谷部落、栗島などを作画の対象として制作した。佐渡では、金山の麓の北沢選鉱場跡の登り口の階段を「廃虚の階段」と名付けて描き始めて、現在に至っている。近い将来に「世界遺産」になることを夢見ながら……

西村 満



晩秋の河口

## 【西村 満(にしむらみつる) 略歴】

1935(昭和10)	新潟県長岡市に生まれる	1979(昭和54)	西村満(第1回)「北の風景」展(新潟大和)
1954(昭和29)	新潟県立村松高校卒業	1980(昭和55)	第23回安井賞展「晩秋の工場街」入選
1958(昭和33)	新潟大学教育学部美術科卒業 新潟市中学校美術教師となる	1985(昭和60)	第28回安井賞展「秋の野」入選
1962(昭和37)	新潟県展彫刻部門「浜の若者」奨励賞受賞	1988(昭和63)	「敵北の詩・西村満」放映(TeNYテレビ新潟)
1967(昭和42)	日展初入選	1994(平成 6)	岩室村主催「西村満・ハザ木野外スケッチ展」
1968(昭和43)	光風会展初入選	1996(平成 8)	新潟大学教育人間科学部美術科講師(～2000)
1978(昭和53)	第21回安井賞展「煙の街」入選	2000(平成12)	「にいがた美術サロン・西村満」放映(BSN新潟放送)
		2006(平成18)	新潟市美術協会会長(～2007)

光風会会員・新潟光風会名誉会員・日展会友・元新潟県美術家連盟副理事長・元新潟市美術協会会長 名誉会員

### ■アクセス

#### バスで

■新潟駅(万代口)より 新潟交通バス  
【1】(C20)『浜浦町経由西部営業所行』  
【2】(C21)『浜浦町経由信濃町行』  
【3】(C22)『水族館前行』  
【1～3】全て

▶「西大畑坂上」下車徒歩5分

■新潟交通バス  
「東中通」下車徒歩15分

#### タクシーで

■新潟駅(万代口)より約15分

#### 徒歩で

■古町十字路より徒歩15分

#### 自動車で

- 【1】日本海東北自動車道新潟亀田ICを下り、柳都大橋経由約25分
- 【2】国道8号線(新潟バイパス)桜木ICを下り、昭和の大橋経由約20分
- 【3】国道8号線(新潟バイパス)紫竹山ICを下り、柳都大橋経由約20分



佐渡・産業遺産



北の工場街



望郷



## NSG 美術館

〒951-8101 新潟市中央区西船見町5932番地561  
TEL: 025-378-3773 FAX: 025-378-3772  
メールアドレス: nsg-artmuseum@nsg.gr.jp  
ホームページ: <http://www.nsg-artmuseum.jp>

### ワークショップ

西村満「花の模写」(水彩)

日時: 10月6日(日) 13:00～15:00

料金: 1,000円(画用紙・材料費を含む)

定員: 6名

持物: 水彩用具一式、画板(30×40cm程度)

予約: 025-378-3773 (NSG美術館)

※ 観覧料は別途必要

